

# ごてんば 市議会だより

Letter From the Municipal Gotemba City Assembly

## 予算決算委員会 各分科会での審査の様子



総務分科会



福祉文教分科会



経済環境分科会

### 3月定例会

3月定例会は、2月23日から3月24日までの31日間開催されました。

当局から提出された議案39件、同意5件、諮問1件、議員提出議案4件が審議され、原案どおり決しました。

代表質問は3月4日に行われ、4会派から質問がありました。また、一般質問は、3月7日と8日の2日間で行われ、6人の議員から質問がありました。

### もくじ

- 代表質問(4会派) ..... 2~3 ページ
- 一般質問(6人)..... 4~6 ページ
- 議案の審議結果一覧 ..... 7~8 ページ
- 本会議の審議状況 ..... 9 ページ
- 委員会の審査状況 ..... 10 ページ
- 意見書 ..... 11 ページ
- 議会Q&Aコーナー、議長日記、6月定例会の予定、編集後記 ... 12 ページ

視覚に障がいがある方のための、音声による「市議会だより」もあります。  
問い合わせ / 図書館 ☎0550-82-0391

## 新政 代表質問



新政 田代耕一

若林市政2期目の総決算について

平成28年度を迎えるにあたり、市長の政治姿勢そのものについて、以下質問する。

**問** 施政方針において「魅力発信の強化」を重点施策に加えた思いを伺う。

**答** 市民に郷土愛や誇りを意味する「シビックプライド」を醸成することにより、自分たち自身の力でまちを盛り上げることになり、人口流出の防止になる。

**問** 市長自身が考える当市の方向性と市民に対しての思いを伺う。

**答** 地域経済を強化し、新たな雇用を創出し、守っていく。

自分たち自身の手でまちを活気づかせ、大きくしていこうという気概を持つ若い方々が増えて欲しいと思う。

**問** 市長が描く将来の当市の姿と市政の夢について伺う。

**答** 1つ目は、市のポテンシャルを最大限に生かすため、

本市の交通網を一層充実させる。富士山を抱えるまちの玄関口にふさわしく、眺望を生かした駅前整備を行う。

2つ目は、子どもたちが元気に育ち、富士山のような大きな心を持った市民へと成長してほしい。このような思いが自分たちで自分のまちを盛り上げていこうとする気概につながり、地域経済活性化や文化芸術振興、スポーツ振興等を含め、本市の活力の源となると確信している。市民の皆様とともにそうした環境づくりを進めることが、市政の役割であり夢である。



## 市民21 代表質問



市民21 杉山 護

平成28年度市長施政方針について

市長から、平成28年度の市政に対する所信表明が行われた。

具体的には、基本姿勢として、第四次御殿場市総合計画及び前期基本計画である、御殿場まち・ひと・しごと創生総合戦略や将来都市像である「緑きらきら、人いきいき、交流都市 御殿場」の実現に向けて、諸施策を積極的に進める。また、重要施策として、従来からの経済活性化、地域医療体制及び子育て支援の充実、危機管理体制の強化の3本の柱に加え、魅力発信の強化を図るとある。

**問** 魅力発信の強化について伺う。

**答** これまでも魅力発信及び情報発信に力を入れてきたが、定住人口や交流客数の更なる増加のためにハード・ソフト両面からの取り組みにより創出された、当市の新たな魅力を強力に発信する必要があるために行う。

**問** 今後の企業誘致の方向性について伺う。

**答** 企業誘致活動については、これまで培ったノウハウを最大限に生かし、市民の皆様の雇用機会の確保はもとより、全国の若者にも様々な業種による働く場の提供をすることにより、当市への移住、定住のきっかけを創出していく。



東名高速道路 駒門パーキングエリア(下り線) 移設工事現場

**問** 今後の出生率向上についての取り組みについて伺う。

**答** ①若者が就職して安心して家庭を築くことができるよう、雇用機会や起業の場の創出を継続実施する。②今後も行政として、民間事業所等へ婚活イベントへの参加呼び掛けによる、活動のネットワーキングの拡大を図る。③地域で安心して子どもが産める環境整備の取り組みを図る。④子育て世代が理想とする子どもの数を持つことができるための経済支援施策を、先駆的に実施する。

### 創成 代表質問



創成 稲葉元也

#### 市長施政方針について

**問** 「人口が増え続けるまち」の取り組みについて伺う。

**答** ①経済活性化として、モデルフォレスト事業・エコガーデンシティ化事業を推進し、雇用の場、起業の場の創出につなげる。②子育て支援の充実として、保育料等の多子世帯軽減施策を県の先駆的モデル事業として実施する。③当市の魅力発信を市内外に強力かつ効果的に発信し、移住定住人口の増加につなげる。

**問** 「富士山火山」防災対策について伺う。

**答** 避難対象地域は、すべての区を対象としている。避難先は、伊豆半島地域、さらに必要に応じて中部・西部地域に避難する。今後は、避難ルートの確保等、避難計画の実効性を高めていく。

**問** 「ラグビーワールドカップ」「東京オリンピック・パラリンピック」の合宿誘致の状況は。

**答** サッカーと、両大会のラグビーについては、裾野市と共同で合宿誘致を進めている。

また、本市単独では、ゴルフ等の合宿誘致に取り組んでいる。

**問** 「子ども条例」制定を伺う。

**答** 「真の子育て支援日本一」のまち」を目指し、子どもたちの幸せと健やかな成長を図るため、社会の役割を明確にする。



**問** 将来の水道事業を伺う。

**答** 40年先までの「水道資産維持管理計画」を策定し、料金検討、安定経営を図る。

**問** 他市町との広域連携を伺う。

**答** 観光面で、裾野市等と連携事業を実施。箱根山系等に広域サイクリングコースを提案する。（仮称）神山深良線整備事業を裾野市と連携して実施する。

### 市民ネット・なでしこ 代表質問



市民ネット・なでしこ 黒澤佳壽子

#### 御殿場市行政経営指針(平成28年度〜32年度)について

**問** 当指針は「市民と共に歩む行政経営」を目標とした改革の方針を示すものである。

**問** 行政事務の改善策について。

**答** 目標管理制度による組織目標、事業実績の評価、財政状況の確認、予算編成など一連の業務を整理し、効率化を図る。

**問** 計画的財政運営策について。

**答** 財政規律を確保した財政計画を策定。財政健全化維持のための具体的数値目標を掲げ、他市との比較検討を可能とする。

**問** 財政基盤強化における自主財源の確保の方策について。

**答** 企業誘致、経済活性化、移住定住策、子育て支援策等を通じ、市税収入の安定確保を図る。

**問** 市民協働の方策について。

**答** 市民協働型まちづくり推進プランを見直し、補助制度や担い手育成支援等を検討。市民の声を共有する仕組みを構築する。

**問** 人口ビジョンに関わる小児医療体制の充実について

**答** 子育て支援策における小児医療体制充実の重要性について。重要性を認識し、小児医療等対策事業を実施しているが、今後は公の資金援助や医師の招へいに力を注ぐ。

**問** 地域医療、特に小児医療体制の検証と今後の方策について。

**答** 小児医療、産科医療、救急医療の医師確保が課題。「診療科の偏在と研修医制度の改善」を国に要望。広域的医療提供組織は確立済み。当市の地域医療体制審議会に体制や補助の在り方等、早急に諮問する。





勝間田幹也 議員  
改新

秩父宮記念公園第2期整備事業  
計画について

**問** 第2期整備事業取り組み状況について伺う。

**答** 未整備となっている区域に受  
付案内所や研修施設、食  
提供施設の建築を予定している。  
開放的な雰囲気の中で、音楽会  
や芸術作品の展示会などが開催  
できるよう、平成32年度末に整備  
完了を目指している。

**問** 公園運営の将来構想、展望に  
ついて伺う。

**答** 別荘地の雰囲気そのまま  
に、非日常的な雰囲気・空間  
を感じられるよう、周辺施設と連  
携を図り公園運営をしていきた  
い。市内外、さらには海外から  
お客様をお迎えできる公園に  
していきたい。

市街化調整区域における宅地創  
出について

**問** 市街化調整区域における宅  
地創出の概要について伺う。

**答** 都市計画法の特例を用い、市  
街化調整区域で宅地創出を  
行っていく。区画の面積は250平  
方メートル(75坪程度)。定住人口  
の増加を目的とし、県外、県内、最  
後に市内の順に子育て世帯を中  
心に分譲を予定し、将来の人口パ  
ランスを考慮し、小規模かつ段階  
的に進めていく。

**問** 市街化調整区域における宅  
地創出の今後について伺う。

**答** 平成28年度印野地区を皮切  
りに高根地区、玉穂地区の  
順で宅地化を進める。その後、行  
政区単位で人口減少が続く地域  
も宅地創出を進める。市内一巡の  
目途は、約10年を想定している。  
同時に市民の暮らしやすさを  
考えた施策を並行して展開させ、  
地域活力の維持に努めていく。



大窪民主 議員  
創成

生まれ育った子どもたちが帰っ  
て来られる街づくりについて

**問** 大学等市外へ進学した若者  
のUターン就職の現状につ  
いて伺う。

**答** 若者のUターン就職の状況は  
現在、企業が求人条件につい  
て求職者の公平性を保つため、性  
別や年齢、出身地等の条件を設け  
ていない。そのため、Uターン就職の  
正確な状況を把握できていないの  
が現状である。

**問** 大学卒業者の就職に見合う  
研究機関等の誘致の見通し  
について伺う。

**答** 研究機関については、高学  
歴の研究員が多く、移転も  
少ないことから誘致したい事業所  
の一つである。研究機関の多い医  
療、医薬、健康産業の集積を図る  
ため、ファルマバレープロジェクト  
に、県・周辺市町・関連企業と  
連携して取り組んでいる。

**問** 生まれ育った子どもたちが  
帰って来られる環境の整備  
について伺う。

**答** 雇用に関しては、新たな企  
業誘致のために工業用地の  
整備を引き続き進め、産・官・学・  
金等の連携によるモデルフォレス  
ト事業や駒門周辺地域エコシテイ  
化事業を推進し、地域活性化や  
産業振興を図りながら新たな雇  
用機会を創出する。

子育て支援策として、全国トッ  
プレベルの子ども医療費助成制度  
と、保育園・幼稚園の保育料等の  
多子軽減支援事業を実施する。  
公共交通への取り組みとして、  
御殿場線の利便性向上に努める。





高木理文 議員  
無会派(日本共産党)

子どもの医療費無料化について

**問** 当市では高校3年生相当年齢までを対象にしており、先駆的な取り組みとして高く評価する。今、国内では17歳以下の6人に1人が貧困状態と言われる。たとえ1回500円負担でも受診抑制は起こりうる。どの家庭に生まれても必要な医療が受けられるよう、子ども医療費の無料化が必要である。現在約4.4人に1人(合計所得300万円以下の世帯)は実質無料化だが、その費用負担額について伺う。

**答** 平成26年度決算で3,500万円余、平成25年度決算で3,700万円余である。

**問** 残りすべての世帯を無料化した場合の想定支出を伺う。

**答** 概ね8千万円である。

**問** 内閣府の意識調査でも「医療費の無料化」を挙げた女性が

45.8%であった。子どもの医療費無料化についての見解を伺う。

**答** 入院については、高校3年生相当年齢まで完全無料である。医療機関の混雑回避や民間企業への配慮を含め、通院は今後も一部自己負担をお願いしたい。

国民健康保険税の負担軽減と18歳未満の子どもの均等割廃止について

**問** 国保は加入者の貧困化が進み、子どもが多い世帯ほど「均等割」により税負担が重く、子育て支援に逆行する。18歳以下の子ども均等割廃止について見解を伺う。

**答** 低所得世帯に対する軽減措置は講じている。更に、市民税均等割非課税の世帯に対して所得割額を減免する制度があり、子育て支援の一助となっている。



どの子にも必要な医療が受けられる制度が必要で



辻川公子 議員  
市民ネット・なでしこ

「市民目線・女性視点」での市民の声に対する市の姿勢について

平成28年1月31日執行予定、御殿場市議会議員選挙のための活動中、有権者の方より貴重な声を伺った。28年ぶりの無投票で終了したので、議会を身近に感じて頂き、市政に期待を頂くため、今回3点の要望についていただいた。

**問** 胃がん検診時、バリウム検査はつらいとの声の中、胃カメラやピロリ菌検査を含めた胃がんリスク検査も導入しては。

**答** 内視鏡検査は、この2月、国の指針が改正されたので、早期導入への協議をする。国は、胃がんリスク検査の死亡率減少の根拠を検証中で、導入までの提言に至っていない。

**問** 神奈川県や藤枝市は既に胃がんの発見率がバリウム検査より飛躍的に向上した。費用軽

減、リスク軽減等に有効であるが。その有効性について医師会の意見を伺い、研究する。

**問** 磐田市へ入院された方の要望で、磐田市は、登録した地域民が、指定の場所へ自宅からタクシーで1回400円から送迎をしてくれる「ドアtoドア」のデマンドタクシーを運行している。当市にも有効では。

**答** 利用者の予約に応じて運行するデマンド型交通は、利用者にとって有効である。

**問** 婚活事業に多くの自他体が取り組んでいるので、当市も民間団体や企業と連携し、定期的に情報交換を行い、出会いの場の具体策を図られるか。

**答** 婚活活動のネットワーク拡大支援を積極的に行う。





神野義孝 議員  
新政

保育の現状と今後の取り組みについて

核家族化や勤労希望の増加により、保育所への入所待ちが発生している。子育てと就労を両立し、安心して生活できる環境整備が不可欠である。

**問** 保育施設へ入所を希望する子どもの現状は。

**答** 平成27年度は、年度当初から9月までは待機児童がいなかったが、平成28年1月1日現在、58人が待機児童となっている。

**問** 9月以降の待機児童増加への対策は。

**答** 認可外保育施設への紹介や、一時預かり事業で預かっている。また、地域型保育事業を中心に施設整備を考えている。

**問** 当市と長泉町との保育施策の相違は。

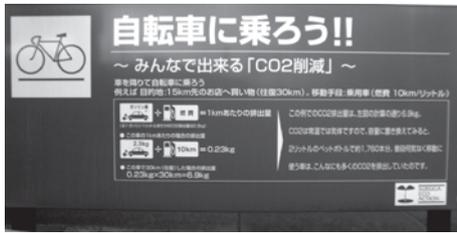
**答** 基本的には、補助や助成について相違はない。当市は、延長保育、一時預かり保育、休日保育、病児・病後児保育等の多様な保育事業と障害児保育、アレルギー対応の給食の提供等きめ細やかな保育に優れている。

駐輪場整備の推進について

東京五輪、自転車競技の伊豆市開催、近年の自転車ブーム等自転車利用者の増加が予想され、駐輪場整備の推進が必要である。

**問** 駐輪場整備の取り組みは。

**答** 御殿場駅北駐輪場の一角に自転車用のラックを1基整備予定。また、箱根・乙女口整備事業の進捗に合わせ、増設計画もある。主要施設について、自転車愛好家の利用状況を考慮し、設置に向けた取り組みを進める。



自転車環境の整備を



平松忠司 議員  
至誠・清風会

選挙における投票率の向上施策について

公職の選挙における投票率は、全国的に低下しており、当市においても例外ではない。投票率の低下は、民主主義を危うくする憂慮すべき事態であり、投票率向上のための施策が必要である。

**問** 住んでいる場所に近くとすることで投票できるようにすることについて伺う。

**答** 市内を23投票区に分け、それぞれ投票所を設けている。投票区の指定は、行政区、組を単位としており、ほとんどは自宅から最も近い投票所を指定されているが、まれに遠い投票所を指定されることがある。

この場合、区長を通じて区、組単位での変更が可能である。

**問** 駅周辺など、市民の活動に合った場所に期日前投票所を開設するについて伺う。

**答** 駅周辺などに複数開設することは、有権者の利便性の向上に有効だと考えるが、様々な要件を満たした期日前投票所の開設には、多くの時間と費用を要する。

このため、既に体制が整っている富士岡支所での開設を検討している。今後、必要な投票管理システムの改修準備を進める。

**問** 地域を巡回する期日前投票所実施について見解を伺う。

**答** 利便性向上につながると考えるので、先進地の事例研究等、必要な検討を進める。5支所に投票所機能を整備し、順次、巡回することが想定される。今後も様々な手段を講じ、投票率の向上に努める。



# 議案の審議結果一覧

## 平成28年3月定例会

### 【全会一致で可決等された議案】

#### (補正予算)

- ・平成27年度御殿場市公設浄化槽事業特別会計補正予算(第1号)について

#### (予算)

- ・平成28年度御殿場市簡易水道特別会計予算について
- ・平成28年度御殿場市観光施設事業特別会計予算について
- ・平成28年度御殿場市救急医療センター特別会計予算について
- ・平成28年度御殿場市公共下水道事業特別会計予算について
- ・平成28年度御殿場市介護保険特別会計予算について
- ・平成28年度御殿場市農業集落排水事業特別会計予算について
- ・平成28年度御殿場市公設浄化槽事業特別会計予算について
- ・平成28年度御殿場市上水道事業会計予算について
- ・平成28年度御殿場市工業用水道事業会計予算について

#### (条例)

- ・御殿場市職員の退職管理に関する条例制定について
- ・御殿場市認知症総合支援事業推進協議会設置条例制定について
- ・御殿場市子ども条例制定について
- ・御殿場市教育委員会の組織に関する条例制定について
- ・御殿場市教育委員会の職務権限の特例に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定について
- ・御殿場市教育委員会教育長の勤務時間等に関する条例制定について
- ・御殿場市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例及び御殿場市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・御殿場市地区コミュニティ供用施設等条例の一部を改正する条例制定について
- ・御殿場市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・御殿場市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例制定について
- ・御殿場市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例制定について
- ・御殿場市消費生活センター設置条例の一部を改正する条例制定について
- ・御殿場市都市公園条例の一部を改正する条例制定について
- ・御殿場市小山広域都市計画富士御殿場地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例制定について
- ・御殿場市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・御殿場市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・御殿場市特別職の職員で常勤のもの給料等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・御殿場市手数料条例の一部を改正する条例制定について
- ・御殿場市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について

#### (契約)

- ・御殿場小学校プール改築建築工事請負契約の締結について

#### (その他)

- ・市道路線の認定について
- ・御殿場市裾野市行政に関する事務等の事務委託の変更に係る協議について
- ・御殿場市と富士山南東消防組合との消防に関する事務の委託に係る協議について

#### (人事)

- ・御殿場市外1組合公平委員会委員の選任について
- ・御殿場市農業委員会委員の任命について
- ・御殿場市副市長の選任について
- ・御殿場市教育長の任命について
- ・御殿場市固定資産評価員の選任について
- ・人権擁護委員候補者の推薦について

#### (議員提出議案)

- ・活火山防災対策の強化を求める意見書の提出について
- ・無電柱化の推進に関する法整備を求める意見書の提出について
- ・子ども医療費助成制度の創設と国民健康保険の国庫負担減額調整措置の廃止を求める意見書の提出について
- ・御殿場市議会委員会条例の一部を改正する条例案の提出について

# 議案の審議結果一覧

【本会議で賛否が分かれた議案等】 ○賛成 ×反対 ※議長（高橋利典）は採決に加わりません。

議員名(議席番号順) 議案等・結果	杉山護	芹沢修治	土屋光行	高橋靖銘	長田文明	本多丞次	勝間田幹也	菅沼芳徳	勝亦功	神野義孝	田代耕一	大窪民主	小林恵美子	勝間田博文	杉山章夫	平松忠司	黒澤佳壽子	辻川公子	高木理文	高橋利典	稲葉元也
平成27年度御殿場市一般会計補正予算(第4号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	※	○
平成28年度御殿場市一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	※	○
議案第3号 平成28年度御殿場市一般会計予算に対する修正動議(債務負担行為)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	※	×	
平成28年度御殿場市国民健康保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	※	○
平成28年度御殿場市後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	※	○
御殿場市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	※	○

【予算決算委員会で賛否が分かれた議案等】 ○賛成 ×反対 ※委員長（勝間田博文）は採決に加わりません。

議員名(議席番号順) 議案等・結果	杉山護	芹沢修治	土屋光行	高橋靖銘	長田文明	本多丞次	勝間田幹也	菅沼芳徳	勝亦功	神野義孝	田代耕一	大窪民主	小林恵美子	勝間田博文	杉山章夫	平松忠司	黒澤佳壽子	辻川公子	高木理文	高橋利典	稲葉元也
平成28年度御殿場市一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	×	×	×	○	○
議案第3号 平成28年度御殿場市一般会計予算に対する附帯決議	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	×	※	○	○	×	×	○	×	○
平成28年度御殿場市国民健康保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	×	○	○

## 平成28年度御殿場市一般会計予算に対し、附帯決議をしました

### 【附帯決議とは】

議案を議決するに当たって、議会としての意見や要望などを付すものです。

### 【附帯決議の内容】

平成28年度御殿場市一般会計予算において計上された、第2表 債務負担行為のうち、「公園施設改善事業」については、拙速に執行することなく、事業計画の精査に努めること。



駒門公園のアスレチック

## 訂正とお詫び

3月7日(月)発行の市議会だより冬号(第88号)の記事の一部に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

### P10～11「議案の審議結果一覧」

●「御殿場市議会の議員に対する議員報酬及び期末手当の支給並びに費用弁償条例の一部を改正する条例制定について」

(誤)全会一致で可決

(正)反対…高木理文議員、辻川公子議員

●「御殿場市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例及び御殿場市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について」

(誤)反対…高木理文議員、辻川公子議員

(正)全会一致で可決

本会議で行われた議案審議の中から、主なものを掲載します。

平成28年度御殿場市一般会計予算について

**問** 「高齢者運転免許証自主返納支援事業」の内容と周知方法は。

**答** 運転免許証を有する65歳以上の市民で、平成28年4月1日以降に免許証を自主返納した人に対し、小型車初乗運賃相当額(690円)のタクシー利用券12枚を1回限りで交付するもの。市広報紙等への掲載や、交通安全推進団体等と協働しての広報の他、地域や老人会等とも連携した直接的な広報を行う。

**問** 庁舎東館建設事業に係る議場関係の備品等には、機能的で廉価なものを導入することが当然と考えるが、詳細は。

**答** 備品購入費1億7、400万円余のうち、議会関係備品の総額は5、700万円余。議会関係の備品は、議場の議員席の机や椅子など、その性質上特殊なものが多く、それぞれの単価も割高になる要素があるが、その中でも一定の機能を確保したうえで、グレードを極力抑えたものを選定している。

**問** 生活困窮者自立支援事業のこれまでの評価と今後の事業拡大は。

**答** 本人から直接相談が寄せられるケースの他、地域の民生委員児童委員や関係機関からも情報が寄せられ、地域での見守りとともに、関係機関の連携が広がっていると感じている。平成27年4月から12月末までに寄せられた54件の相談のうち、本人の意向や各種制度の利用により支援の終結に至ったケースが38件で、14人が就職している。今後については、生活困窮世帯の子どもへの学習支援事業の実施に向けて検討している。

**問** ごみの新たな収集・分別方法に移行して1年が経過するが、課題は。平成28年度予算への反映は。

**答** 移行当初は、不燃ごみ等の排出日の間違いや、旧指定袋での排出が見受けられた。自治会役員やごみ減量等推進員等の皆さんの協力をいただきながら、市やごみ収集委託業者の連携のもと、不適物指導用ステッカーを貼るなどの啓発をし、全体として課題は解消されつつある。

平成28年度予算には、直接的に現れていないが、今後も間違い排出ゼロを目指し、市民の皆さんへの啓発と協力を依頼する。

**問** 今後、世界文化遺産である富士山を生かした観光・経済振興に、どのように取り組むか。

**答** 近くで感じる富士山、少し離れたところから味わう富士山など、本市ならではの富士山を生かした誘客施策を引き続き進める。

最近では、富士山を見ながら周辺をサイクリングするファンも増えている。新たな社会変化を生かしたツーリズムに取り組むなど、今後も経済振興につながる観光振興策を進めていく。



**問** (仮称) 神山深良線整備事業について、国・県からの財源確保の見通しは。

**答** 平成27年度から28年度にかけて、御殿場・裾野両市の市費により、測量・概略設計・実施設計を行い、概算事業費を算定している。平成29年度からは、道整備交付金事業として、国の補助50%と、裾野市からの負担金、市債、一般財源により国庫補助事業として実施する。また、県に事業費の一部負担を求め、御殿場、裾野両市で要望活動を行っている。

**問** 自主防災組織の活性化のため、特に力を入れて取り組む施策は。

**答** 市内59区すべての自主防災会を対象に、水害への対応力向上を図るための水防訓練を実施する。また、引き続き火山防災訓練の実施を推奨するとともに、大規模地震災害への対応力向上のため、地域防災訓練のモデル地区訓練を実施する。

平成28年度においても、更なる防災意識の高揚と防災力の強化を図っていく。

**問** 「子どものための教育・保育給付費」の具体的内容は。

**答** 子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、創設された新しい給付費である。私立の認定こども園等を対象とした「施設型給付」と、公立の認定こども園等を利用する児童を対象とした「公立施設個人給付費」がある。市内では、平成28年4月から私立の幼保連携型認定こども園が1園開園する予定である。「施設型給付費」については、この園の幼稚園部分が主な給付の対象となる。



各委員会で行われた審査の中から、主なものを掲載します。

## 予算決算委員会

### 総務分科会

平成28年度御殿場市一般会計  
予算について

問

平成28年度から本格運用となる人事評価制度は、どのようなものか。

答

年度当初に策定した業務目標の達成度をはかる業績評価と、年間を通して業務上発揮された能力をはかる能力評価を行い、次年度の勤勉手当を決定していくものである。



平成28年度御殿場市国民健康  
保険特別会計予算について

問

一般被保険者国保税の医療給付費分及び後期高齢者支援金分の現年課税分及び滞納繰越分の収納率が前年度対比で高くなっている背景は。

答

税務課における収納の推進等により、平成26年度滞納繰越分の調定額が大きく減少したこと等により、収納率を高く設定したものである。

### 福祉文教分科会

平成28年度御殿場市一般会計  
予算について

問

子ども家庭センターの臨床心理士の活動状況は。

答

子育てこころ相談の件数が年々増えており、年間1,500件近くの相談に対応している。

問

平成28年度は、(仮称)発達相談センターを作り、相談全体の約8割を占める発達障害に重点を置いて対応する。

問

電子黒板の整備状況と今後のタブレット端末の導入について。

答

電子黒板は、平成28年度をもって小・中学校ともに整備が完了する。タブレット端末の導入については、ICT導入計画において、慎重に調査研究を進めていく。

### 経済環境分科会

平成28年度御殿場市一般会計  
予算について

問

災害廃棄物処理基本計画策定業務委託の概要について。

答

県の災害廃棄物処理計画を踏まえ、県内各市町が、大規模災害時に素早い対応ができるよう、平成28年度末までに計画を策定するものである。

農作物等被害防止対策事業の概要について。

答

様々な鳥獣の被害が挙がっていることから、音や臭いを含めたモデル事業をできればと考えている。

問

生活道路整備事業について、20路線を整備する計画だが、他の路線に対する要望等はあるか。

答

区長を通して毎年多くの申請がある。申請件数に対し、約62%を完了している。

平成28年度御殿場市上水道事業会計予算について

問

老朽管更新事業は、老朽管の検査結果に基づくものか、または耐用年数に基づいて行っているのか。

答

設置後40年以上を経過している配水管を対象に、計画に基づき更新工事を行っている。

## 総務委員会

御殿場市職員の退職管理に関する条例制定について

問

当条例が適用される対象者数は。

平成26年度及び平成27年度退職予定者34人のうち、営利企業等への就職もしくは就職予定者が対象となる。

問

当条例制定により期待される効果は。

答

営利企業等への再就職者による働きかけを規制することなどにより、退職管理の適正が確保され、不正行為の抑止につながって、市民の負託と信頼に応える効果が期待できる。

## 福祉文教委員会

御殿場市子ども条例制定について

問

市民や地域団体に対する具体的な働きかけの方法は。

答

地域の見守り隊など、まずは既存の団体に働きかけていく。具体的な活動内容については、平成28年度に作成する行動計画の中で示していく。

問

保護者への働きかけは。

答

保護者についても、行動計画の中で役割を明文化する。まず、市内の検討委員会で素案を作り、市民を交えた懇話会を経た後に、最終的に役割を明文化した冊子を作成する予定である。

### 3月定例会で採択された意見書の概要を掲載します。

#### 活火山防災対策の強化を求める意見書

国内の火山活動が活発化する中、当市においても富士山噴火に直結する火山活動が警戒されている。

国及び地方自治体は、御嶽山の教訓を受けて成立した、火山防災に関する事前対策の強化を打ち出した活動火山対策特別措置法の主旨を踏まえつつ、中長期的対策を行う必要がある。

国においては、活火山防災対策の充実強化のため、次の事項について必要な措置を講じられるよう強く要望する。

- ①火山活動の何らかの兆候が見られた場合には、住民等に情報提供等を迅速かつ的確に行う体制を強化すること。
- ②災害時の警戒区域の設定等による私権制限に伴い生ずる損害とともに一定の補償をすること。また、火山ごとに条件の異なる自治体に対し、実効性を高めるきめ細かな支援をすること。
- ③活火山噴火対策に関連する法律等には様々なものがあり、所管する省庁も多岐にわたっている。発災後、住民・事業所等に対する様々な支援に即座に対応できるように、事前の対

策をとること。

#### (提出先)

衆議院議長、参議院議長、  
内閣総理大臣、総務大臣、  
国土交通大臣、内閣府特命大臣



#### 無電柱化の推進に関する法整備を求める意見書

近年、災害時に倒壊した電柱が救援救助等の障害となることや、電柱による道路の狭隘化が通学児童の痛ましい交通事故の遠因になると、増加する海外観光客への対応などから、無電柱化に対する地域の要望は極めて強いものとなっている。

しかしながら、欧米はおろか、アジアの主要都市と比較しても我が国の無電柱化割合は著しく低い。

地域住民の生活環境改善や地域の活性化を図るため、とりわけ防災性の向上や安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興等の観点から、無電柱化への取り

組みを計画的かつ円滑に進めることは極めて重要である。

貴議会において、無電柱化の推進に関する基本理念や責務、推進計画の策定等を行うことにより、施策を総合的、計画的かつ迅速に推進し、公共の福祉の確保や生活の向上、地域経済の健全な発展に資するため無電柱化の推進に関する法律の早期成立を強く要望する。

#### (提出先)

衆議院議長、参議院議長

#### 子ども医療費助成制度の創設と国民健康保険の国庫負担減額調整措置の廃止を求める意見書

若い世代の希望がかない、安心して結婚・出産・子育てができる環境を整備に向けて、少子化対策の抜本的強化を図らなければならない状況にある。

当市においては、子どもの医療費を高校3年生相当年齢まで助成し、子育て家庭の経済的負担を軽減し、安心して医療が受けられるよう医療費の自己負担を助成する制度を設け、子育てしやすい環境づくりに努めてきた。

現在、すべての地方自治体において子ども医療費の助成制度が実施されているが、国においては、早急な実現を求めるものである。

一方、国は、このような取り組みに対して、医療費の波及増分は実施自治体が負担すべきものとして、本来国が負担すべき国民健康保険国庫負担金等の減額調整措置を講じている。

国を挙げて少子化対策に取り組むべき時に、この減額調整措置は国の方針とも逆行するものである。子ども医療に関わるセーフティネットは、本来、国の責任において社会保障政策の中に位置付けて構築すべきものである。

以上のことから、次の事項について強く要請する。

- ①国の責任で子ども医療費助成制度を創設すること。
- ②国民健康保険の国庫負担金等の減額調整措置を直ちに廃止すること。

#### (提出先)

衆議院議長、参議院議長、  
内閣総理大臣、総務大臣、  
財務大臣、厚生労働大臣



シリーズ  
第17回

●今回のテーマ  
「代表質問・一般質問とは？」



① 代表質問とは？

議会内には、同じような考え方や意見を持つ議員が、グループ(会派)を結成しています。その会派の代表者が、市政に対して質問を行うことを代表質問といひ、当市では3月定例会の市長施政方針説明後に行われます。市長施政方針に対する質問など、質問内容が政策的なものとなるため、多くの場合、市長や副市長、教育長が答弁者となります。

② 一般質問とは？

議員が、市政に対して質問を行うことを一般質問といひます。代表質問が政策的な内容であるのに対し、一般質問では、事務の執行状況及び将来に対する方針などについて質問します。細部にわたる質問が行われるため、その事務を担当する部の部長が主な答弁者となります。一般質問は、年4回(3月6月9月12月)の定例会で行われます。

※いずれも傍聴することができまますので、お気軽にお越しください。

議長日記

3月22日に、東山旧岸邸で開催された「岸信介元首相生誕120年記念 太郎冠者植樹祭」に出席しました。  
「移植された椿(太郎冠者)」は、推定樹齢約400年で、国内最古級とされるそうです。御殿場の歴史を見てきた銘木が、このように移植され、市の景観重要樹木に指定されたことは、大変感慨深いものでした。  
今後、当市の新たな観光資源として、大切に守り育てられていくことを願っています。



6月  
定例会の予定

6月定例会は6月7日から21日までの15日間です。時間はいずれも午前10時からです。

21(火)	17(金)	16(木)	6/7(火)
追加議案・審議採決	一般質問	一般質問	提案理由説明補正予算 条例等審議

\* 正式な会期日程は直前の議会運営委員会で決定されます。  
詳しくは御殿場市議会事務局へお問い合わせください(市議会ホームページにも掲載しています)。  
\* いずれの日も傍聴することができます。  
当日、市役所3階の議会事務局で受け付けをしますので、お気軽にお越しください。



編集後記

市制施行60周年を迎えた平成27年。諸行事も多く成果を残し、新たな気持ちで平成28年を迎えました。広報委員会も新しいメンバーでスタートしました。

3月定例会では、若林市長2期7年間の集大成として、従来からの経済活性化、地域医療体制及び子育て支援の充実、危機管理体制の強化の3本の柱に加え、魅力発信の強化を重点施策とした施政方針が説明されました。これを受け、代表質問や一般質問、平成28年度当初予算審議等、活発な議論がなされました。議会の活動をわかりやすく市民の皆様にお知らせすることを第一として、皆様からの提言も生かし、期待に添えるよう委員一同取り組んでまいります。

委員長 杉山 護

御殿場市議会広報委員会

- 委員長 護 徳銘 明子 夫子 文也  
 副委員長 芳 靖文 美章 公理 元  
 杉 沼橋 田 林 山 川 木 葉  
 菅 高田 小 杉 辻 高 稲  
 長 高 小 杉 辻 高 稲

ご意見ご質問は議会事務局へ

〒412-8601 御殿場市萩原 483

Tel.0550-82-4323

Fax.0550-82-4326

御殿場市議会

検索

市議会だよりには再生紙を使用しています。印刷/(株)御殿場印刷所

